

市勢の動き

人口	
30年	37,038人
35年	35,665
40年	33,887
45年	32,611
50年	32,049
55年	33,187
60年	34,235

商業販売額	
45年	1,041,991万円
47年	1,161,892
49年	1,689,646
51年	2,713,455
54年	4,316,350
57年	5,442,265
60年	5,032,535

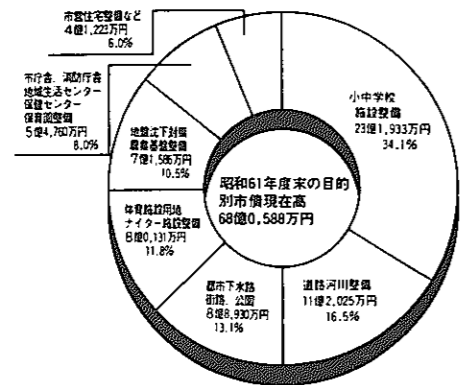
工業出荷額	
55年	6,438,982万円
56年	7,673,846
57年	8,021,382
58年	8,749,835
59年	9,704,878
60年	10,154,968
61年	10,435,400(概数)

農業生産額	
55年	1,289,000万円
56年	1,249,000
57年	1,322,300
58年	1,337,400
59年	1,372,400
60年	1,405,500
61年	1,438,000(推計)

歳出

歳出総額も前年度決算額に比べ二千二百一十万円少なくなっています。

これを科目別に見ると、公債費が六千七百三十八万円増えたのははじめ、総務費一億一千六百五十五万円、教育費千五百六十六万円増え、逆に減ったのは民生費の四千五百五十六万円をはじめ、土木費三千七百六十六万円、商工費千三百六十三万円、農林水産業費



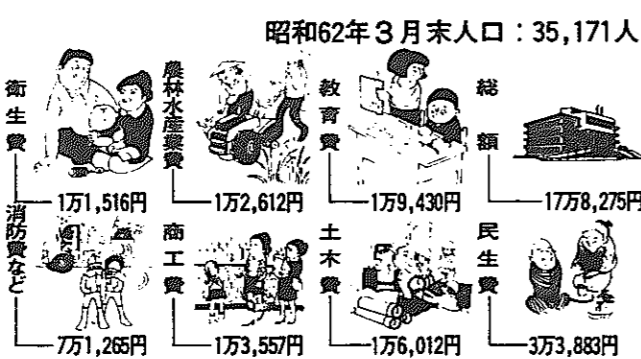
歳入

歳入総額では、前年度決算額に比べ千九百九十五万円少なくなりました。これを科目別に見ると、市税が二億五千七百九十九万円増えたのははじめ、地方交付税八千六百二十二万円、使用料及び手数料二億七千二百七十七万円増え、逆に減ったのは国庫支出金八千二百四十六万円、諸収入千二百八十七万円、県支出金三千六百二十八万円、市債一億四千七百二十万円となっています。

市債の状況

学校や道路、総合体育施設、都市下水路、保育園などを建設するには多くの資金が必要となります。市税や補助金だけで賄うことはできません。そこで、国や銀行からお金を借りるわけですが、これを市債といっています。

市債は、長期にわたって返済するため世代間の公平を図ることが



昭和62年3月末人口：35,171人

六十一年度に納めていただいた税金とかがかかった経費を、一人当たりの税金と費用

市有財産の状況 (昭和62年3月末現在)		
区分	土地	家屋
61	489,506㎡	87,205㎡

国民健康保険特別会計 (単位：万円)		
歳入	歳出	差引
195,392	193,682	1,710

老人保険特別会計 (単位：万円)		
歳入	歳出	差引
157,413	155,015	2,398

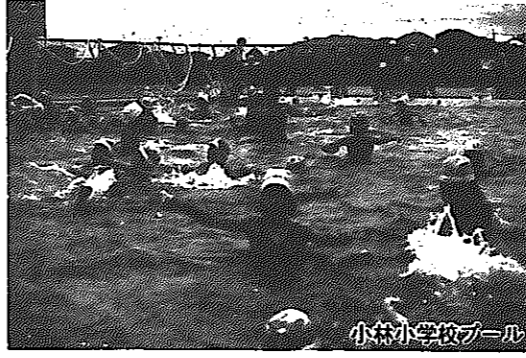
六十一年度に見ても、税金は総額で前年度より八・六割増え、六万九千九百四十四円となりました。

一方、一年間に使われたお金は前年度より二千四百一十円少ない、十七万八千二百七十五円となりました。

税金とかがかかった経費を、一人当たりの税金と費用

六十一年度に見ても、税金は総額で前年度より八・六割増え、六万九千九百四十四円となりました。

一方、一年間に使われたお金は前年度より二千四百一十円少ない、十七万八千二百七十五円となりました。



昭和61年度の決算状況(見込み)

六十一年度の市政は、六十一年三月の定例市議会で可決された当初予算額五十七億五千五百万円(前年度比二億七千五百万円、五・〇%増)でスタートしました。その後、年間を通していろいろな行政需要にこたえるため、八回の補正予算を組んだ結果、最終予算規模は、年度当初より五億九千四百三十三万円多い六十三億四千九百三十三万円となりました。

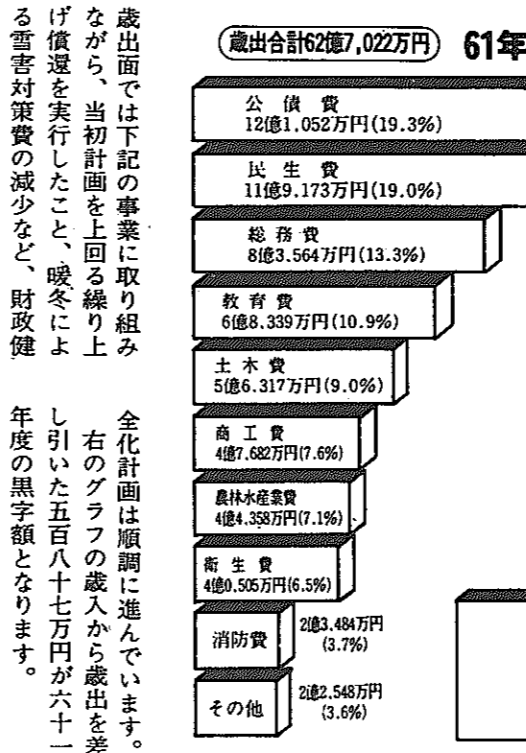
次に、決算額との比較では、歳入、歳出とも前年度より減った訳ですが、これは起債制限団体からの脱却を最重要課題に財政運営を行ってきた結果で、歳入面では職員の手当増を借りなかつたこと、減債基金の取りくずしをしなかつたことなどが挙げられます。

単年度黒字は587万円

財政健全化へ着実な歩み

市債残高を5億8000万円減らす

昭和六十一年度一般会計の決算状況(見込み)がまとまりましたので、お知らせします。この決算状況は、今後市議会でも審査し、認定された段階で確定することになります。



歳出面では下記の事業に取り組みながら、当初計画を上回る繰り上げ償還を実施したこと、暖冬による雪害対策費の減少など、財政健全化計画は順調に進んでいます。

右のグラフの歳入から歳出を差し引いた五百八十七万円が六十一年度の黒字額となります。

- ### 61年度の主な事業
- 昭和六十一年度は、六十年度から進めてきた財政健全化三か年計画の二年目に当たり、歳入の確保と歳出の見直しや節減、合理化によりいっそう努めながら財政運営を行ってまいりました。
- その結果、皆さんの協力の下で小林小学校のプール建設をはじめとする、次の大きな事業に取り組みすることができました。
- ▽県営農道整備事業負担金 八百十七万円
 - ▽地盤沈下対策事業負担金 五千八百九十六万円
 - ▽農村総合整備モデル事業 九千三百八十九万円
 - ▽土地改良区共同事業負担金(ほ場関連道路整備など) 二千三百五十九万円
 - ▽道路整備事業 一億五千九百八十五万円
 - ▽都市下水路整備事業 一億五千二百七十七万円
 - ▽街路整備事業 三千二百二十九万円
 - ▽消防施設整備事業 千二百四十四万円
 - ▽小学校プール建設事業 三千二百五十万円



地盤沈下対策事業(北部工業団地東側) 農村総合整備モデル事業(下赤波地内) 道路整備事業(浦梨地内の歩道)